

H31年4月～令和元年6月

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署	分類
H31.4.12	看護専門学 校の防犯灯	看護専門学校の防犯灯について、午後9時頃見ても点灯しているため無駄ではありませんか。以前回答をいただいた際には、学生のために点灯していると言われました。夜間、学生は帰宅していると思います。	お寄せいただいたご意見をふまえ、看護学校の外灯について、現在、午後9時までとなっている消灯時刻を、試験的に午後7時までという運用に変更しました。また、外部実習などで学生の帰りが遅くなる日は消灯時刻を遅らせることとし、支障がなければ、その運用を続けたいと考えております。	看護専門学 校	その他
H31.4.19	図書館で行 われたイベ ント	図書館で開催された西尾市出身の絵本作家、西村敏雄さんの原画展は、とても良かったです。「わたしはあかねこ」や「バルバルさん」は知っていましたが、西尾市出身の方が描いていたことを嬉しく思いました。 時々、図書館を利用しますが、その週の新着本をいつも楽しみにしています。カラーで背表紙を貼り出してくださるのでとても見やすいです。選んでくださる本も興味深い本が多く、選書される方のセンスに感嘆します。今後も頑張ってください。	回答不要の意見	図書館	その他
H31.4.26	アイドルグ ループもも いろクロー バーZの催し 物に関する 提案	私が応援しているアイドルグループももいろクローバーZは、2年前から、毎年4月に「春の一大事」と称して、日本各地に一大事を起こすというコンセプトでコンサートを開催しています。東京や大阪、名古屋といった首都圏ではなく、俗に言う田舎でライブが行われています。2年前は埼玉県富士見市、1年前は滋賀県東近江市、そして先日は富山県黒部市で行われました。どのまちでも市職員の皆さんや、市民の皆さんがコンサートの何か月も前から、大いに盛り上げてくださり、ファンにとっても、地元の方にとっても良い思い出となる出来事になりました。 今回私が提案したいのは、来年2020年の4月18日(土)、4月19日(日)にも「春の一大事」が行われることが決定し、会場として協力してくださる市を募集しています。そこで私の地元でもある西尾市で行えないだろうかと考えています。私自身、過去の「春の一大事」にも参加しましたが、そのまちの良いところをたくさん知ることができました。ももクロのライブをきっかけに、多くの人に西尾市の良いところを知って欲しいと思います。過去のライブを見ると、会場となる場所は、運動公園など屋外で2万人程を収容できるような施設がいいと思います。ご検討の程宜しくお願い致します。	ご提案いただきました内容につきましては、西尾市の活性化や魅力の発信に繋がるものと考えられますので、市としてもエントリーしていきたいと考えております。もし、実現できましたら、市民の方々と一緒に盛り上げたいと思いますので、ご支援をよろしくお願い致します。	商工観光課	観光

H31年4月～令和元年6月

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署	分類
H31.5.7	AIなど新しい 技術の導入	<p>西尾市で生活していると、以前と比べて外国籍の方が多くなったように感じます。労働力不足を補うことも大切ですが、外国の方が居住地を選択する権利などを考えれば、今後も増えることは当然に考えられることです。外国人が日本で生活する上での障壁のひとつとして言語の問題があります。この問題を軽減するため、市としてAI技術などを積極的に導入してはどうでしょうか。</p> <p>例えば、Google翻訳やUDトークのようなものが考えられるかと思えます。現在、ホームページを見ると、ある程度は多言語対応されているようなので、すでに対応済みかもしれません。ポルトガル語などを話せる通訳職員もいると思うので、わざわざ導入する必要はないかもしれませんが、提案させていただきます。AI技術は、会議などの議事録を作成する際にも活用でき、非常に効率的であると聞きます。他の自治体や大手企業でも導入が進んでいると聞いたことがあります。議事録作成事務に労働力や人件費を投入しているならば、検討する余地はあるのではないかと思います。</p>	<p>【地域つながり課】</p> <p>AI技術の活用として、日本語による意思疎通が困難な児童生徒及び保護者の対応のため、小中学校において多言語音声翻訳機12台を導入しております。また、現在、市民課において通訳の不在時や外言語の対応のため、自治体向け音声翻訳システムに関する研究開発の実証実験に参加しております。ご意見のとおり、AI技術の活用は、外国人住民への各種案内や事務手続きに有効であり、業務の効率化につながるものと考えております。今後は、全庁的な導入についても検討してまいります。</p> <p>【情報政策課】</p> <p>AI等新しい技術については、市民サービスの向上や内部事務の効率化を図る上で非常に有効な手段の一つと考えております。今後は、導入効果の高い業務の洗い出しを行い、最新テクノロジーを活用したAI・ロボティクスの導入を検討してまいります。</p>	情報政策課 地域つながり課	情報
H31.5.9	総合福祉センターのインターネット予約	<p>総合福祉センターの会議室を予約するため、センターの開館にあわせ朝2時間並びに会議室を予約しました。市役所の施設などは、「eあいち施設予約システム」から予約することができますが、総合福祉センター会議室は、予約状況の確認できるものの、インターネットから予約はできません。利用者の公平性という点も理解できますが、インターネットから予約できるようにしてはどうでしょうか。</p>	<p>現在、会議室の予約については、団体の活動目的や内容を勘案し、福祉利用団体（高齢、障がい、ボランティア等）とその他の一般利用団体に分類し、予約受付開始日と使用料金をそれぞれ設定しています。これは、センター設置の主旨から福祉利用団体の利用に配慮し、優先利用を適用しているものです。</p> <p>総合福祉センターを利用される方は高齢者の方が多く、パソコンやスマートフォンを操作できる環境にない方も多くいらっしゃいます。こうした状況から、インターネットからの予約受付（eあいちから予約受付）を開始すると、現在利用中の多くの方々に影響が生じると考えます。そのため、現在のところインターネットからの予約受付については、困難であると判断しております。ただし、eあいちでの予約状況の閲覧は可能となっておりますのでご活用ください。</p>	福祉課	その他

H31年4月～令和元年6月

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署	分類
H31.5.17	矢田小校区 の人口増加	<p>近年、矢田校区は、区画整理等が進み人口が増加しています。小学校は生徒で溢れ、行事がまともに出来ない状況です。卒業式は体育館に在校生が全て入り切らずに低学年は休校。入学式でも同じく、入り切らずに教室で待機。教室も不足しているため、増築が進み、中庭は無くなり、教員の駐車場もありません。子供達が生活する環境は大丈夫ですか。学区の変更、隣の小学校に通う、新しく小学校を建築するなどの対策はありませんか。</p> <p>これ以上、区画整理を進めれば子供を育てる環境ではないと思います。学校は、生徒が窮屈そうにしながら生活し、保育園も近所の保育園に入園できず、違う学区へ通園することになっています。人口が増加すれば交通量も増えます。道路も歩道が少なく、ビュンビュンと車が走り、今にも子供達の列に車が飛び込んで来そうな感じです。区画整理を進める前に、学校、保育園、道路の整備を先に進めて頂きたいと思います。これ以上区画整理を進めれば、人口が増える傾向だと思います。人口が増加する前に、やらなければいけない事があると思います。子供が生活しやすい環境作りが、今すぐにも必要だと考えます。</p> <p>市としては、このような状況について、どのように考えていますか。もう少し目線を下げて、子育て世代の考えを聞いてもらえません。大きな事故が起きてからでは遅いと思います。</p>	<p>【都市計画課】 区画整理事業は、市街化区域内の低未利用となっている土地の有効な活用方法として行われております。矢田地区はこのような土地が多いため区域内の地権者が組合を組織し区画整理事業が進められています。事業の実施にあたり、道路などのインフラを始め、学校、保育園などの公益施設についても、関係部署と事前に協議書を交わし、事業を進めておりますのでよろしく申し上げます。</p> <p>【土木課】 人口増加に伴い交通量の増加が想定され、全ての道路に歩道を設置することはできませんが、道路への色付けや道路反射鏡(カーブミラー)の設置など、必要な安全対策は町内会からの要望により対応したいと考えています。また、街灯につきましては、道路照明灯として設置が必要な箇所には基本的に設置しておりますが、街灯がなく暗い箇所は、町内会が設置する防犯灯での対応をお願いしています。市では、防犯灯の設置に対する補助があり、窓口は危機管理課となっておりますので、一度町内会にご相談ください。</p> <p>【学校教育課】 矢田小学校の児童数は、令和4年度に最大となり、その後、減少に転じる見通しです。現在、その最大児童数に対応できるように、校舎の増築を進めております。従って、現時点では、校区の変更による対応は計画しておりません。</p> <p>【保育課】 矢田地区の保育園については、平成31年4月現在で、定員に空きがある状況であり、今後の人口の動向から新規で保育園を整備することは検討しておりません。また、施設の老朽化については、西尾市全体の保育園・幼稚園の建設年を考慮し、矢田保育園においても、順次、長寿命化または建替えを計画しております。</p>	都市計画課 土木課 学校教育課 保育課	住まい・まちづくり
H31.6.3	3歳未満児の 保育園入園 基準	<p>広報にしお5月16日号14ページ「市議会だより」の中で、「3歳未満児の入園基準に係る就労時間の下限が60時間に変更される」とあります。現在は、120時間と設定されており、小さい子ども(特に3歳未満の子供)を持つ親にとって、保育園に預け仕事をすると、これだけ長い時間働かなければいけないというのは、厳しい状況だと思います。基準が60時間になれば、もっと働きやすく、子供と過ごす時間も確保しやすくと感じています。就労時間の基準の変更は、どの程度検討が進んでいますか。また、具体的にいつから変更されるのか教えてください。</p>	<p>本市では、西尾市子ども・子育て支援法施行細則に就労時間の下限について規定しています。就労時間の下限を60時間に変更すると、200人程度の利用者の増加が見込まれるため、令和2年度から令和6年度までの間を90時間とし、令和7年度から60時間と定め、利用者の増加に対応するための施設整備を進めています。</p>	保育課	出産・子育て

H31年4月～令和元年6月

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署	分類
H31.6.3	運動会	運動会は、半日にならないでしょうか。運動会当日はとても暑く、子どもたちもバテていました。安城市では、去年から半日になっています。PTAのリレーや開会式、閉会式の挨拶などを省けば、13時くらいには終わるのではないかと思います。運動会は、子どもたちの頑張っている姿を見に行きます。子どもをメインに考え、時間を短縮し熱中症の予防に努めて頂きたいと思います。せっかく運動会に行って、体調を崩しては意味がないと思います。ご検討よろしくお願いします。	小学校の運動会の日程については、在籍児童数や家庭・地域との交流の機会の確保など、学校や地域の実情を鑑みて、各学校で判断しています。西尾市では現在、小学校の運動会を半日日程に統一する予定はありません。なお、熱中症への対策については、応援席にテントを張ったり、多めの水分を用意するように、各家庭へ働きかけたりするなど、対策を講じております。また、当日も様子を見ながら、臨時に休憩時間をつくったり、水分補給の指示を出したり、学校によっては、競技の合間にグラウンドへ水まきをしたりして対応しています。	学校教育課	教育
H31.6.4	学校行事に関するプリントの地域内回覧	先日、学校行事のプリントが地域の回覧板で回ってきました。「今日は引取訓練が行われるな」、「今はこの子が児童会長なのか」など地域全体で子ども達を見守れる良い試みだと感じました。保護者への通知は、学校からのメールや学校通信などで情報が届きますが、祖父母や地域の方には伝わっていない事が多かったので、保護者としてもありがたい事だと思いました。規模の大きな学校の場合、地域の回覧板を活用した情報共有は、難しいかもしれませんが、運動会のプリントも回覧板で回して頂けると、当日の路上駐車禁止や交通事故防止に繋がるのでは、と思いました。（既に実施済みなのかもしれませんが） 「児童、生徒の個人の名前が掲載されている」などの意見もあるかもしれませんが、「賛成」の意見もあるということをお伝えたくメール致しました。	回答不要の意見	学校教育課	その他
H31.6.26	下水道事業の収支	新聞紙面に、25パーセント値上げ案を議会に提出したなどを知りました。そこで、具体的な収支の現状を教えてください。また、国の基準を超えているなどの記載がありましたが、このことは、重大な問題を生じてくるのでしょうか。	下水道事業の具体的な収支について、使用料改定の検討を行った平成28年度決算で申しますと、下水道使用料で賄うべき経費、13億4,045万6千円に対し、下水道使用料収入は8億9,499万7千円、差し引き額4億4,545万9千円を赤字補てん分として、一般会計より公共下水道事業特別会計に繰り入れています。 今回の使用料改定は、受益者負担の原則に基づき、赤字補てん分の繰入金金の抑制を図るために実施するものでございます。また、国が推奨する使用料単価は、1立方メートルあたり150円とされており、現在の西尾市使用料単価100円と開きが生じておりますが、このことにより、ただちに罰則を受けるなど、特段の規定は無いものと認識しております。しかし、本来、赤字補てん分の財源である税は、下水道使用者に限らず、幅広い市民が受けられるサービスに充てられるべきものであり、不公平な税の配分を継続することは、適切な状態であるとは言えません。将来的には、持続可能な下水道事業の実現を図るため、国が推奨する単価まで段階的に使用料を引き上げていくことを予定しております。	下水道管理課	行政